

高知県における平成19年5月分の電力需給状況

< 需 要 >

- ・販売電力量計では、3億6千1百万kWh時、対前年比99.7%となった。

(表-1, 図-1)

[需要の内訳]

- ・家庭用などの「電灯」は、4月下旬の気温が前年に比べ高めに推移したことによる、暖房需要の減少などから、対前年比98.4%となった。

- ・事務所ビル・大型商店などの「業務用」については、自家発の廃止などから、対前年比102.1%となった。

(表-1)

- ・産業用の「大口電力」は、紙パルプ、鉄鋼、繊維などが前年を上回ったことから、対前年比101.5%となった。

(表-2, 図-2)

< 供 給 >

- ・月平均の全社自流式出水率は、53.5%。
(上旬50.6%, 中旬43.3%, 下旬54.1%)

- ・月末の全社貯水池保有量は、1億1千0百万kWh時で満水比44.9%。

(表-1) 需要実績

[百万kWh, %]

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	136	98.4	278	96.5	703	98.6	1,446	96.0
	電 力	32	97.1	65	94.3	148	96.4	301	93.1
	計	168	98.1	343	96.0	851	98.2	1,747	95.5
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	91	102.1	174	103.3	477	104.1	915	103.3
	産業用電力	102	100.0	202	100.8	884	103.0	1,754	103.3
	(再掲)大口電力	(68)	(101.5)	(135)	(102.5)	(693)	(104.4)	(1,376)	(104.8)
	特定規模計	193	101.0	376	101.9	1,361	103.3	2,669	103.3
販売電力量計		361	99.7	719	99.0	2,212	101.3	4,416	100.1

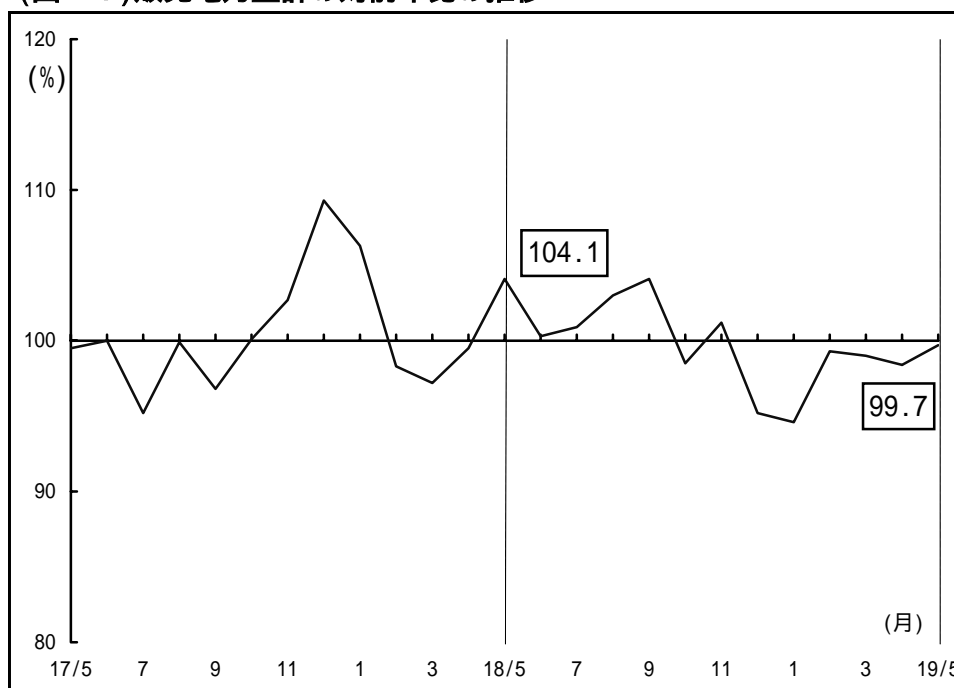
(注1) 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

(表-2) 大口の産業別内訳

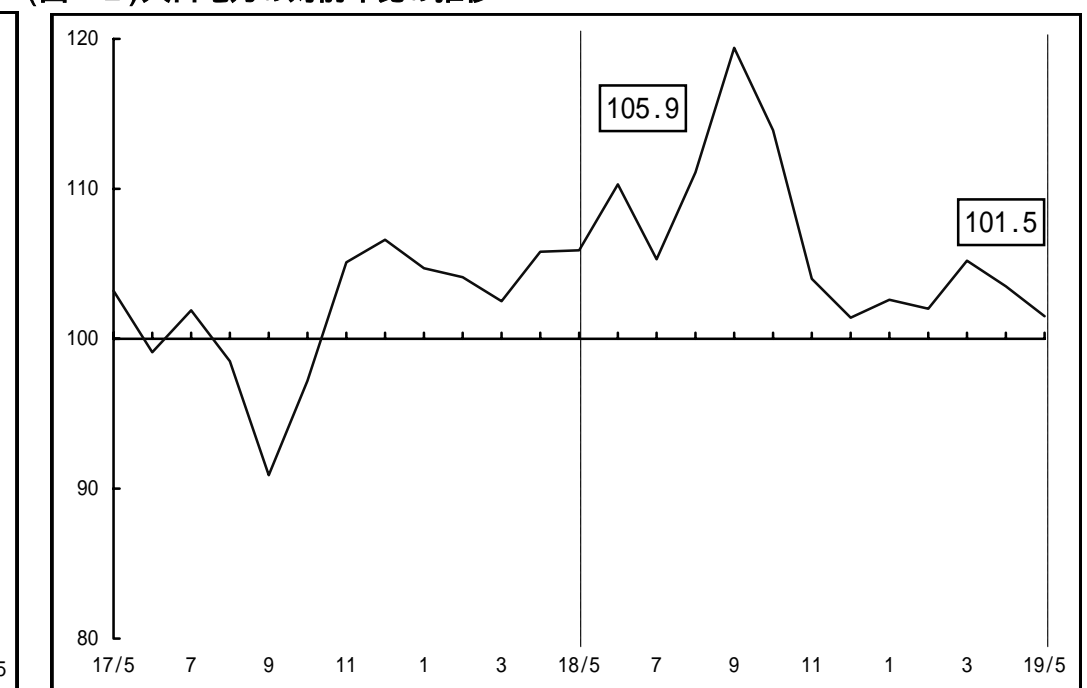
[百万kWh, %]

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	24.5	99.0	47.9	100.4
化 学	12.4	92.3	25.4	95.7
紙パルプ	11.3	105.3	22.2	104.0
鋳 業	3.3	101.5	6.2	99.8
織 維	2.4	103.7	4.8	106.1
鉄 鋼	2.6	113.8	5.3	109.0
そ の 他	11.7	112.6	23.5	113.1
計	68.2	101.5	135.3	102.5

(図-1) 販売電力量計の対前年比の推移



(図-2) 大口電力の対前年比の推移



< 参考 > 高知市内の平均気温

()

	4 月				5 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実 績	13.5	15.1	17.4	15.3	19.3	19.3	21.0	19.9
平年差	0.4	0.4	0.4	0.2	1.1	0.0	0.8	0.6
前年差	0.7	0.4	2.2	0.3	1.2	0.3	0.0	0.5